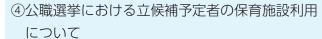
中野 寛之 議員 (一問一答方式)



①能登半島地震を踏まえた事前

- 防災について
- ②シティプロモーションについて
- ③子育て支援について



⑤小中学校における校務のデジタル化について

災害対応における女性目線の確保について

問

避難所を運営する場合には、女性の着替えやト イレ、生理用品、妊産婦対応など、男性だけでは気付 かないことも多々あると思う。災害対応の中心とな る危機管理課の女性職員増員や各指定避難所運営を 担う自主防災組織に男女バランスよく登用するよう 働きかけていくことが必要と考えるが、いかがか。

答 本市では、指定避難所運営管理マニュアルにお いて、避難所運営委員会に女性の参画を求めること はもとより、トイレは男女別とし、女性用トイレを 多く設置することや、物資の配給の窓口には男性と 女性を配置し、女性に必要な物資の配布は女性が対 応することなどを定めています。熊本県益城町で は、避難所運営の中心に女性がいたことで、不安や 困り事が抑えられたケースが数多くあったとの報道 もありました。こうしたことから、避難所運営にお いては複数女性のリーダーなど、男女バランスよく 活躍できるようにしなければならないと考えてお り、今後は地域の自主防災組織や大洲市防災士会に も相談しながら、きめ細やかな配慮がなされた避難 所運営ができるよう努めます。

シティ・プロモーションについて

問 来年度予定の「郷土の先哲顕彰事業」は、市民向 けのシティ・プロモーションとして最適な事業と感 じている。我が町の歴史と魅力など、優れたところを 自覚し、外向きに発信することができればさらなる 大洲市の魅力向上につながると考えるが、シティ・ プロモーションの取組との連携をどう考えるか。

答 先哲顕彰事業について、令和6年度は五稜郭の

設計を行ったことで知られている「武田斐三郎」に ついて、函館をはじめ関係各所から資料を借用し特 別展を開催するほか、市内各小中学校で斐三郎の事 績を紹介する巡回展や出前講座の開催を計画してい

また、斐三郎も学んだ八幡神社の古学堂の学室を 会場として、受講生を公募したうえで、幕末当時の 再現授業を行う予定です。

令和7年度以降も、「河内寅次郎」や「三瀬諸淵」 などの先哲について実施を予定しており、市民が大 洲にゆかりのある偉人やその業績を知ることで、地 元に誇りを持ち、市外にも情報発信していただくこ とにより、地域のブランディングにも寄与するもの と考えています。

母子健康手帳のアプリ導入について

問 母子健康手帳アプリを導入すれば、アプリを活 用し、スマートフォンに定期健診や予防接種などの 通知や申込み、結果などが配信され、子育て世代の 利便性が大きく向上すると思う。県内自治体でも導 入実績のある中、大洲市でも導入すべきだと考える が、いかがか。

答 本市が実施している妊婦の健康診査について は、母子健康手帳を交付する際、医療機関と相談し て適切な妊娠時期に受診していただくよう案内を行 うとともに、乳幼児の健康診査や育児相談の案内は 個別の案内のほか、子育てカレンダーや広報おお ず、市ホームページでの周知に努めているところで すが、これら受診勧奨のほかにもアプリを利用する ことは有効であると考えています。保護者の多く は、スマートフォンを利用しており、アプリを活用 することで市からのタイムリーな情報発信やスケ ジュールの管理、アンケート調査への回答ができる などの効果が期待されます。

現在、先進的に活用している自治体からの情報収 集や民間のアプリ取扱業者からの聞き取り、市のC D〇補佐官への相談等を行い、意見集約に努めてお り、様々な母子健康手帳アプリが存在する中で、大 洲市が実施する母子保健事業に対し、どのアプリが 最適なのか、利用される保護者の利便性、運用経費 などについて引き続き検討していきます。